

解消が進んでいる水道事業者へのヒアリング内容

■ 目的

鉛製給水管の解消が進んでいる事業者から、知見や経験を収集し、解消が進んだ要因を把握するとともに、布設替えの参考となる具体的取組内容を収集する。

■ アンケート及びヒアリング概要

- 「残存状況の把握が進んでいること」、「布設替えが進んでいること」に分けて要因を分析するためのアンケート及びヒアリングを実施
- 参考となる具体的事例や布設替え計画等の資料提供を依頼

■ アウトカムについて

- アウトカムとして、「残存状況把握が進んでいる」、「鉛製給水管の解消が進んでいる」の 2 種類を設定（水道統計で把握可能なデータはあらかじめ提示）
- 各アウトカムを説明する要因として条件①～⑤を設定
- 「住民への（給水管）管種の確認を促している」ことは両アウトカムに共通する条件とする

表 1 残存状況把握についてのアウトカム及び条件

種別	条件/アウトカム名
アウトカム	残存状況把握が進んでいる
条件①	既存資料・給水台帳調査が充実している
条件②	推定方法が明文化されている
条件③	調査及び結果の反映を行っている
条件④	住民へ管種の確認を促している
条件⑤	把握方針、予算が確保されている

表 2 鉛製給水管の解消についてのアウトカム及び条件

種別	条件/アウトカム名
アウトカム	鉛製給水管の解消が進んでいる
条件①	布設替え計画を策定し、進捗管理を行っている
条件②	布設替えのための予算、人員が確保されている
条件③	単独工事として布設替えを行っている
条件④	住民へ管種の確認を促している

※条件④は表 1 の結果を反映

表 3 残存状況把握についての質問項目

条件	区分	選択肢	追加確認事項(記述にて回答いただく)
①既存資料・給水台帳調査が充実している	給水台帳の活用状況	給水台帳を用いて、全ての鉛製給水管を調査している	
		給水台帳を用いて、一部の鉛製給水管を調査している	
		全く見ていない(書類の欠損か、人手不足か)	
	給水管データの管理方法	電子台帳・GIS等で管理している	GIS、電子台帳の活用例
		紙台帳中心だが、需要家別・給水番号別・住所別等体系的に整理されている	
		紙台帳・Excel・電子資料が混在しており、手作業や複数資料の照合が必要である	
	材質情報の有無	紙資料・過去資料が散在しており、地区・年代・担当者ごとに管理状態が異なる	
		資料の所在が不明、または資料から給水管情報を確認できない	
		全ての給水管の材質を確認できる	
	位置の特定	材質情報は概ね確認できるが、一部欠落がある	
		材質情報は確認できない	
		給水台帳から給水管の位置を特定できる	
②推定方法が明文化されている	年代情報の活用	一部把握している	
		位置を特定できない	
		全ての給水管の延長を確認できる	
	延長情報の有無	一部の給水管の延長を確認できる	
		延長を確認できない	
	データ抽出	延長を確認できない	
		電子台帳・GIS・DB・一覧表等から、鉛管候補を需要家別・給水番号別・住所別等で体系的に抽出・リスト化できる	
		鉛管候補をおおむね抽出・リスト化できるが、一部資料の手作業確認、古い情報の補正、不明項目の確認が必要である	
	推定ルールの有無	紙台帳・申請書・図面・Excel等を照合すれば、鉛管候補を手作業で抽出・整理できる。調査対象の作成は可能だが、時間と労力を要する	
		特定地区・特定年代・一部資料に限って抽出できる	
		既存資料からリストを作成するのは難しい(既存資料がない)	
③調査及び結果の反映を行っている	年代情報の活用	配水管布設年、給水開始年、家屋築年などの年代情報を鉛製給水管の推定に活用している	
		年代情報を鉛製給水管推定に使っていない	
		鉛管利用停止時期、採用中止年度、材質転換時期などを明確な推定基準として設定している	
	鉛製給水管利用時期	鉛管が使われていたおおよその時期は把握しているが、明確な基準・ルールとしては定着していない	
		鉛管利用停止時期や採用時期を把握していない	
		鉛製給水管の推定ルールが組織内で共有・運用されている	
	推定ルールの有無	担当者判断として一定の考え方はあるが、明文化・標準化・継続運用まではされていない	
		推定ルールはない	
	調査の実施	計画的・継続的に実施している	
		必要時、苦情時、工事前などに限定して実施している	
		探査を実施していない	
④住民へ管種の確認を促している(共通質問)	台帳データの更新	工事・確認状況が反映されている	
		概ね反映されているが、一部欠落している	
		工事・確認状況が反映されていない	
	一般広報の実施	HP・広報紙・パンフレット等で継続的に周知している	住民への配布資料をご提供いただく
		一部資料やHP掲載はあるが、更新頻度や内容が限定的	
		広報していない	
	個別通知・対象者通知	残存疑い箇所・不明箇所を抽出し、個別通知を行っている	
		一部個別通知を行っている	
		個別通知は行っていない	
	自己確認支援	写真例、確認手順、材質判定方法、注意事項を具体的に示している	
		確認を促しているが、方法説明は簡略	
		確認を促していない	
⑤把握方針、予算が確保されている	申告・問い合わせ体制	申告体制があり、台帳に反映している	
		申告体制はあるが、台帳への反映はしていない	
		明確な申告・相談体制がない	
	把握対象範囲の明確化	把握対象範囲が明確で、全域・地区・公道部・宅地部・未確認箇所などの対象区分が整理されている	
		把握対象はある程度設定されているが、一部地区、特定事業、担当者判断にとどまる	
		把握対象範囲が明確でない	
	残存状況把握方針	残存状況把握のための調査方針・管理方針が組織的に運用されている	
		担当部署内で把握・調査の考え方や運用が一定程度共有されている	
		残存状況把握に関する方針がない	
	残存状況把握の進捗管理	残存状況を毎年更新している	
		進捗や不明情報を一部管理しているが、概数・一時的管理・担当者管理にとどまる	
		残存把握の進捗や不明情報を管理していない	
	予算・体制	残存把握、資料整理、台帳整備、現地確認等のための予算・担当人員・委託体制が継続的に確保されている	
		予算・人員・委託体制は一部あるが、単年度・個別対応・他業務兼任にとどまる	
		残存状況把握のための予算・人員・委託体制がない	
	把握対象範囲の明確化	把握対象範囲が明確で、全域・地区・公道部・宅地部・未確認箇所などの対象区分が整理されている	
		把握対象はある程度設定されているが、一部地区、特定事業、担当者判断にとどまる	
		把握対象範囲が明確でない	
	残存状況把握方針	残存状況把握のための調査方針・管理方針が組織的に運用されている	
		担当部署内で把握・調査の考え方や運用が一定程度共有されている	
		残存状況把握に関する方針がない	
	残存状況把握の進捗管理	残存状況を毎年更新している	
		進捗や不明情報を一部管理しているが、概数・一時的管理・担当者管理にとどまる	
		残存把握の進捗や不明情報を管理していない	
	予算・体制	残存把握、資料整理、台帳整備、現地確認等のための予算・担当人員・委託体制が継続的に確保されている	
		予算・人員・委託体制は一部あるが、単年度・個別対応・他業務兼任にとどまる	
		残存状況把握のための予算・人員・委託体制がない	
	把握対象範囲の明確化	把握対象範囲が明確で、全域・地区・公道部・宅地部・未確認箇所などの対象区分が整理されている	
		把握対象はある程度設定されているが、一部地区、特定事業、担当者判断にとどまる	
		把握対象範囲が明確でない	
	残存状況把握方針	残存状況把握のための調査方針・管理方針が組織的に運用されている	
		担当部署内で把握・調査の考え方や運用が一定程度共有されている	
		残存状況把握に関する方針がない	
	残存状況把握の進捗管理	残存状況を毎年更新している	
		進捗や不明情報を一部管理しているが、概数・一時的管理・担当者管理にとどまる	
		残存把握の進捗や不明情報を管理していない	

表 4 鉛製給水管の解消についての質問項目

条件	区分	選択肢	追加確認事項(記述にて回答いただく)
①布設替え計画を策定し、進捗管理を行っている	目標年度	解消目標年度、年次更新件数を設定している	布設替え計画をご提供いただく
		目標年度のみ設定している	
		目標を設定していない	
	進捗管理	毎年度、実績と残存件数及び延長を更新している	
		概ね更新しているが、一部欠落している	
		進捗管理を行っていない	
	見直しの実施	計画の見直しを定期的に行っている	見直しの方法及び頻度
		見直しは行っているが、不定期である	
		見直しを行っていない	
②布設替えのための予算、人員が確保されている	予算確保	財政計画の中で鉛製給水管の更新費用を見込んでいる	収益的収支(3条)と資本的収支(4条)どちらに予算を見込んでいるか
		単年度予算のみ	
		鉛製給水管の専用財源はない	
	宅地部補助	宅地部の布設替えに補助制度がある	補助制度、助成金制度を設けた時の手続き内容
		補助制度はない	
		B+C	
	補助している範囲	C	参考図より補助範囲を選択
		直近5年間で工事を実施したのは公道部のみ	
③単独工事として布設替えを行っている	単独工事の実施	国庫補助、交付金等を活用している	活用例
		活用していない	
		布設替えのための予算・担当人員・委託体制が継続的に確保されている	
	人員確保	人員・委託体制は一部あるが、単年度・個別対応・他業務兼任にとどまる	
		布設替えのための予算・人員・委託体制がない	
④単独工事として布設替えを行っている	単独工事の実施	継続的に鉛製給水管の単独工事を行っている	単独工事の継続年数
		漏水修繕等、他工事と併せて布設替えを行っている	
		A	
	事業体自らが更新している範囲	A+B	参考図より更新範囲を選択
		A+B+C	
その他確認事項	鉛製給水管の布設替えの優先順位設定の考え方		
	鉛製給水管の布設替えにあたっての問題点、課題点		
	宅地部の掘削が困難な状況(外構の特殊舗装や機械掘削が困難な状況等)での布設替えの事例		

